

平成28年度京都府ホームヘルパー連絡協議会 第2回研修会

「支援する人の支援を考える」

(サービス提供責任者向け)

～開催要綱～

1. 趣旨

サービス提供責任者の業務は多岐にわたり、書類整備やホームヘルプ現場の調整、全体のマネジメント、訪問業務、ホームヘルパーのスーパーバイズなど、細やかな配慮や判断をしていく力が求められます。そして現場で働くホームヘルパーや関係機関の専門職と接しながら利用者を支援することは、大変なエネルギーを要します。

今回はサービス提供責任者として働くなかで「ストレス」や「疲労感」の対処法について講義とグループワークを通して学び考え、ストレスを軽減しよりよい利用者支援ができることを目指して開催します。

2. 主催 京都府ホームヘルパー連絡協議会

3. 日時 平成28年9月13日(火) 10:30～16:00

4. 会場 京都社会福祉会館(二条城北側)3階 第5会議室
〒602-8143 京都市上京区猪熊通竹屋町上る中之町 519
※京都市営地下鉄「二条城前」徒歩10分

5. 参加対象者(定員:50名)

- (1) 京都府ホームヘルパー連絡協議会会員のサービス提供責任者および管理者
- (2) (1)に準ずる非会員事業所の職員

6. 参加費

前項(1)に該当する場合:1人 1,000円

前項(2)に該当する場合:1人 3,000円

※当日受付にてお支払下さい。

7. 実施内容

時間	内容
10:30～10:40	開会・オリエンテーション
10:40～12:00 (80分)	【講演】「介護福祉従事者のメンタルヘルス対策と支援」 講師:松田 美智子 氏 (天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻 教授)
12:00～13:00	小休憩・昼食
13:00～15:20 (140分)	【グループワーク】 テーマ:「支援者のストレスを軽減させる支援策について考える」 講師:松田 美智子 氏

15:20～16:00 (40分)	まとめ
16:00～	アンケート記入・閉会

●以下のことをテーマにグループワークを実施する予定です。研修前に一度思い起してみてください●

- ①利用者やその家族・同僚・関連職者とのやり取りの中で精神的ストレスを感じたことがありますか。
- ②利用者やその家族・同僚・関連職者の感情に巻き込まれたり、傷ついたりしたことがありますか。
- ③最も疲れを感じるのはどんなときですか。
- ④（スーパーバイザーの経験があれば）スーパーバイザーとしての関わりの中で傷ついた体験がありますか。
スーパーバイザーとしての役割が果たせていると思いますか。
- ⑤施設・事業所内での支援体制の有無と望まれる支援体制について意見はありますか。

～講師紹介～

松田 美智子 (まつだ みちこ)氏

天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻教授。臨床看護師として10年間病院勤務後、看護師養成に携わる。現在は、天理大学にて社会福祉士・精神保健福祉士養成に携わっている。また、昨年度から支援者支援について調査研究を行い、現在は「介護人材の離職ストップのための支援ツールの開発-ストレスマネジメントの観点から-」というテーマで研究されている。

8. 参加申込

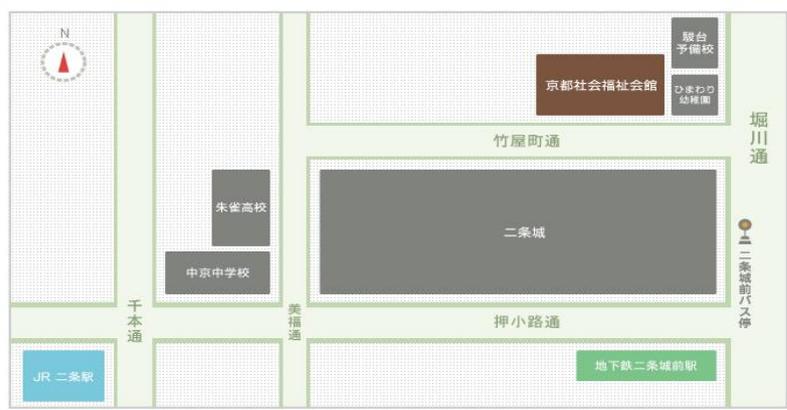
別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、**9月5日(月)**までに京ホ連事務局宛てにお申込み下さい。(FAX可)

お書きいただいた個人情報等につきましては、適正な研修の実施にのみ使用します。

9. その他

研修会当日の昼食については各自で御用意下さい。なお、会場内の飲食は可能です。

10. 会場地図



京都社会福祉会館
〒602-8143
京都市上京区堀川通丸太町下る
(二条城北側)
TEL 075-801-6301
FAX 075-801-6303
*地下鉄二条城駅前下車
徒歩 10分

●京都府ホームヘルパー連絡協議会 事務局●(担当:鈴木)

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る ハートピア京都5階
京都府社会福祉協議会 内

Tel:075-252-6294 Fax:075-252-6310